

ENGINE 01

エンジン No.220
Jan.2019
定価
1080yen

エンジン初のスウェーデン・ブランド、巻頭大特集！

いま、ボルボに乗りたい
これだけの理由。

海外試乗：新型ボルボS60 / 新型ボルシェ・バナメーラGTS
& GTSスポーツツーリスモ / 新型BMW Z4 & 8シリーズ
海外発表：マクラーレン・スピードテール / 新型レンジローバー・イヴォーク
国内試乗：新型メルセデスAMG C63 & CLS53
ファッション：豊かな時間を贈る、ギフト。

時計大特集：アートと時計の“饗宴”



ENGINE

アイコン グラントゥーリズモ

2017年にオリジナル・ムーブメントの搭載が発表され、今年ついに本格始動したブランドのフラッグシップ・ライン。ひとつのムーブメントで4つのダイヤルを駆動させることが可能になった。自動巻き。チタン、ケース直径49mm、5気圧防水。税別88万円。時計の問い合わせ＝ロング スロウ ディスタンス 東京 Tel.03-6447-1311



MECCANICHE VELOCI

メカニケ・ヴェローチ

キュビズムを想起させる、円のフュージョン

シリンダーヘッドに着想を得たケースと4つのダイヤルで構成されたメカニケ・ヴェローチのデビューコレクション「クアトロヴァルヴォレ」。その後、クアトロヴァルヴォレはブランドのフラッグシップ・モデルにふさわしい「アイコン」へとその名を変え、機構も飛躍的な進化を遂げるが、デビュー作に込められた思想と特徴的な意匠はしっかりと継承する。それは、モータースポーツへの情熱とイタリアブランドらしい遊び心が融合したものであり、4つの正円が織り成す幾何学的なデザインは、多角的な視点をひとつの面に収める現代美術のムーブメント、キュビズムにも通じるところがある。カタチを強調したデュシャンの作品と同様、円の強調と結合によって表現する作品として「アイコン」を捉えてみるのも面白いかもしれない。(竹石)

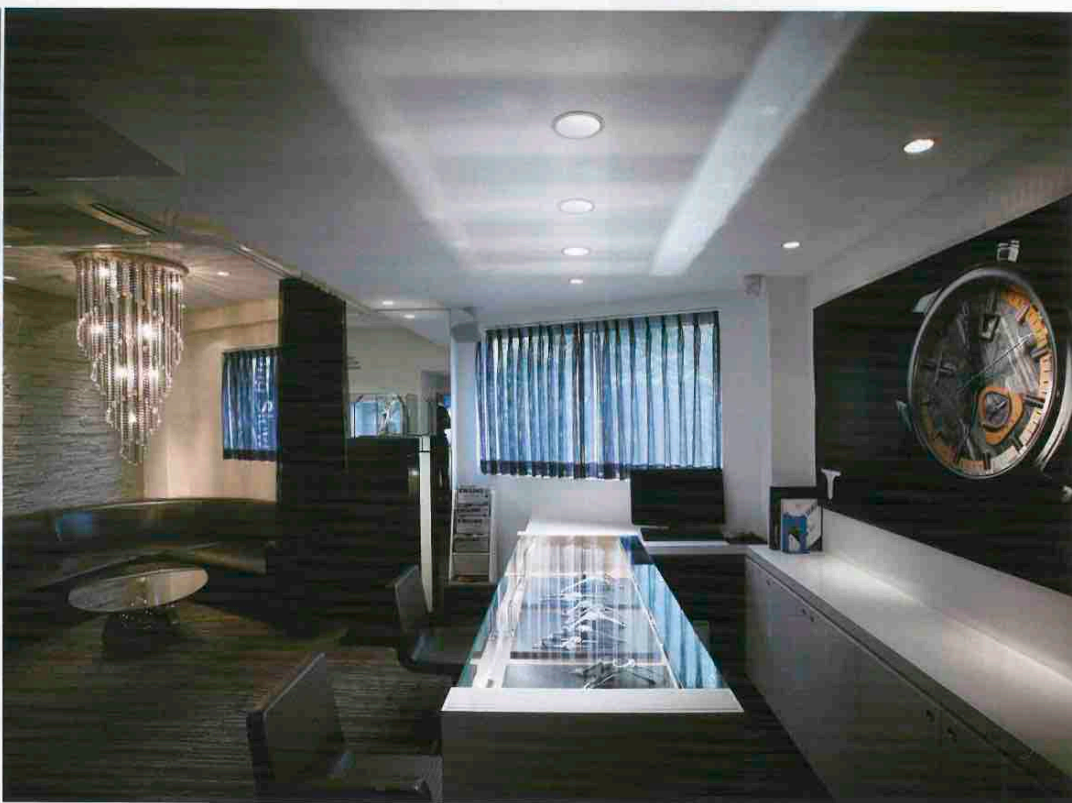
マルセル・デュシャン 《階段を降りる裸体》

1912年 油彩、カンヴァス 147×89.2cm
フィラデルフィア美術館蔵
Philadelphia Museum of Art, The
Louise and Walter Arensberg
Collection, 1950 © Association
Marcel Duchamp / ADAGP, Paris &
JASPAR, Tokyo, 2018 G1591
デュシャン(1887~1968)のこの作品は、
人物の動きを表現したもので、絵画的
にはキュビズムと未来派を融合した1点
として知られる。円を強調したメカニケ
の時計のデザインは、こうしたキュビズ
ムの絵画に通じ、とりわけデュシャンの
描いたこの絵の世界観と符合するよう
に思われる。東京国立博物館で開催
中の特別展「マルセル・デュシャ
ンと日本美術」出品作。





構造美を追究した、スケルトン・クロノグラフがイチオシです。「ティレット」の多彩なラインナップのなかでも、今秋に発売されたクロノグラフをアートな時計に選んだ。「ティレットのために開発されたスイス製クロノグラフ・ムーブメントを搭載。金属部分を可能な限りカットアウトしたスケルトンですから、精緻に組み上げられた構造美を堪能できるでしょう」



アートな1本!

ティレット/AC スケルトン

ティレットの新作は、ベゼルの取り外しが可能な自動巻きクロノグラフ。別売りで雰囲気を変えて楽しめる各種ベゼルも用意される。ステンレススチール、ケース直径47mm、10気圧防水、パワーリザーブ約50時間。税別200万円。



写真左/ティレットの別ブランド「ダニエル ラザー」には「永遠」や「再生」という意味が込められたスカルが描かれている。自動巻き、チタン、ケース直径50mm、ベゼルとダイヤルにブラックダイヤモンドをセッティング。税別125万円。右/1階にはグラハムを展示する。

#8 東京・表参道/Long Slow Distance (ロング スロウ ディスタンス) 東京
誰ともかぶらない、自分らしさを表現できる時計が集結!
個性溢れるアートな時計に出会える

東京・原宿という若者の街にありながら、一歩店内に入るとシックでラグジュアリーな雰囲気が漂う。大人のためのセレクトショップだ。

写真=鈴木 勝



原宿の明治通り沿いの一等地に立地。ほかに、やはり好立地に店を構える広島店と福岡天神店がある。各店ともに取り扱うブランドはティレット、メカニク・ヴェローチ、HYT、RJなど超個性派揃いだ。東京都渋谷区神宮前3-25-12 LSDタワー Tel.03-6447-1311 営業時間11:00~19:00 不定休

「お客様と未永く、かつ、程よい距離で付き合いたいというのが店名の由来です」と話すのは、ロングスロウ ディスタンス 東京の穴田一朗 店長だ。1階にはミラーボール風のオブジェが飾られ、階段を上った2階には革製のソファアールと豪華なシャンデリアを備えた、ちょっと妖しげな大人の空間が広がっている。「ここでもしか出会えないレアピースを提供することがモットー。もちろん、芸術性も備えたモデルを集めています」と話す穴田店長が紹介してくれたのは、ニューヨーク発の「ティレット」。ベゼルが付け替え可能なことが際立った特徴だ。「仕事中はノーマルなスチール製の腕時計、パーティではダイヤモンド入りベゼルに変身させるなど、さまざまに使いこなせる1本です。別売りのベゼルも各種用意していますので、アーティスティックな組み合わせを楽しんでほしいですね」